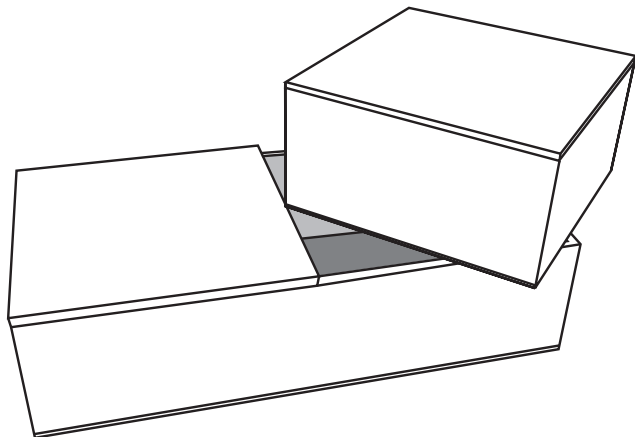


## 組立式「小上がりユニット」

KOAG-SET-120(ロング) / KOAG-SET-60(ショート)

この度は、当社家具製品をお買い上げいただきありがとうございました。本家具製品を安全にご使用いただくために、この組立説明書をよくお読みいただいた上で、手順どおり正しく組立てていただくようお願いいたします。



## スギ集成材「小上がりユニット」の特長

- ◎ 部材と付属の接続金具と締め付けレンチのみで組立てることができます。
- ◎ 側板は丈夫な 20mm 厚のスギ集成材ボードを使用しています。
- ◎ 上蓋には強度と肌触りを重視し、シナ合板にスギ材を貼り合わせてあります。
- ◎ 上蓋は取り外しできますので、小上がり本体ボックス内を収納スペースとして活用できます。
- ◎ 長さ 1200mm のロングタイプと 600mm のショートタイプを組み合わせることで、多様なレイアウトが可能です。

## スギ集成材「小上がりユニット」のお手入れ

- 無垢のスギ材は、紫外線の影響で早く変化しますので、陽の当たる場所には置かないようにしましょう。
- 上蓋のホコリは掃除機で吸い取り、水滴やシミなどで汚れた場合は、スギ材の表面を固く絞った雑巾で軽く拭きとってください。

\*組立式「小上がりユニット」の組立手順は、弊社製品ご紹介サイトからもご確認いただけます。

・ロングタイプ：[http://www.mukuyukazai.jp/koagari\\_unit\\_long/](http://www.mukuyukazai.jp/koagari_unit_long/) ・ショートタイプ：[http://www.mukuyukazai.jp/koagari\\_unit\\_short/](http://www.mukuyukazai.jp/koagari_unit_short/)

- 製品に関するお問い合わせは下記へご連絡ください。

**TSC** 株式会社ティ・エス・シー  
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜 2-1-53

## ●組立式「小上がりユニット」ロングタイプ

商品コード	KOAG-SET-120
完成サイズ	長さ 1200× 巾 600× 高さ 320mm
重量(完成品)	17.8kg

## ●組立式「小上がりユニット」ショートタイプ

商品コード	KOAG-SET-60
完成サイズ	長さ 600× 巾 600× 高さ 320mm
重量(完成品)	10.6kg

## 「小上がりユニット」を組立る前のご注意

## ●組立する場所を確保する

安定した平らな場所で、床に段ボールを敷くなどして、周囲の壁や家具を傷つけないよう十分なスペースを確保してから組み立ててください。

## ●部材を確認する

板材と接続金具など部品に不足がないか確認してください。

## ●手順どおり組み立てる

裏面の組立手順に従って順番どおりに組み立ててください。特に接続金具は指定の位置の溝に正しく取り付けてください。

## ●接続金具は確実に締め付ける

付属の締め付けレンチを使用し、側板どうしがしっかりと接続するように接続金具の継ぎ手を確実に締め付けてください。

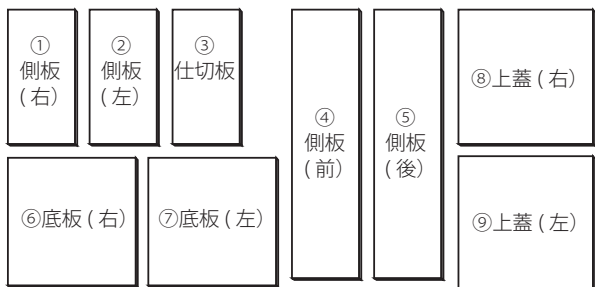
## ●組立後ゆるみがないか確認する

組立完成した後、側板どうしの接続部分にゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は、その部分の接続金具を確認の上、締め付け直してください。

TEL : 0438-37-0206 FAX : 0438-37-2349  
HP : <http://www.mukuyukazai.jp>

# 「小上がりユニット」の部品確認

## ●ロングタイプの部品



## ●ショートタイプの部品

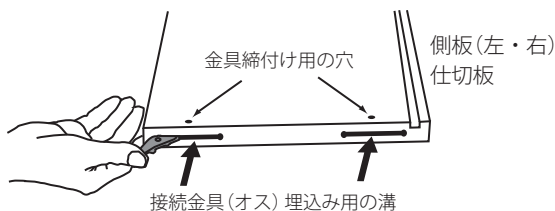


※ 部品の種類や数が足りない場合は、不足している部品名と数量を下記の弊社お問い合わせ電話番号までご連絡ください。

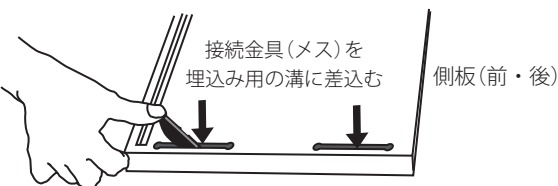
# 「小上がりユニット」の組立手順

※ショートタイプは仕切板はありません。

**1** 側板と仕切板の小口の溝 12 個所に、接続金具（オス）をぴったりはめ込みます。

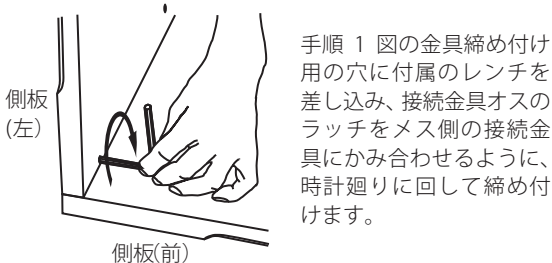


**2** 側板（前・後）の溝 12 個所に、接続金具（メス）をぴったりはめ込みます。

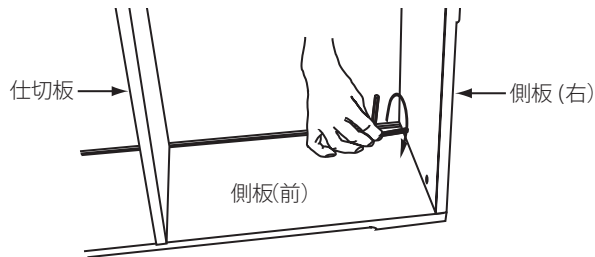


※ロングタイプの側板（前後）には、仕切板の位置にも接続金具（メス）埋め込み用の溝があります。

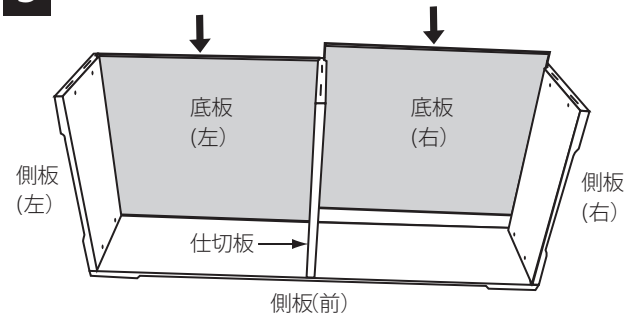
**3** 側板（左）と側板（前）の両端を合わせ、接続金具のラッチ付属のレンチで回して結合します。



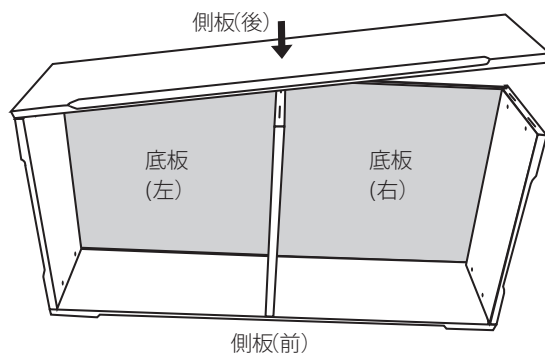
**4** 仕切板、側板（右）と側板（前）それぞれの接続金具のラッチを、付属のレンチで回して結合します。



**5** 底板を側板の溝にはめ込みます。



**6** 側板（後）を取付け、側板（左・右）の接続金具を手順 3～4 と同様にレンチで締付けて接続します。



※側板（後）を取付け終わったら、側板の接続にゆりみがないか確認してください。緩みがある場合は必ず接続金具を締めなおして、ゆりみがないようにしてください。

**7** 上蓋（左・右）を組み立てたボックスに載せて「小上がりユニット」の完成です。

